

問 不耕作農地の
防火防犯対策を

火災予防のためには可燃物を集積しないことが大切です。それでは休耕田の木々や草はどうなのでしょう。篠津北の田んぼなどは危険なレベルなのではないか。こうした面から地権者に、防火防犯のための管理を求めるべきではないか。

答 適正な管理を
お願いしていく

篠津北東部地区の不耕作農地の現況は市としても認識している。現在、地権者が自発的に不耕作農地を解消していただけるよう現地調査を行っており、現地の状況を把握した後、地権者に適正な管理をお願いしていく。



遠藤 誠 議員
(WAKABA)

問 医師のいない市役所の
感染防止

市には職員として医師はいません。コロナウイルス感染症対策に当たっては県の所管であり、幸手保健所が責任を持って対応することになっていることを再確認すべきである。また「かかりつけ医」をもう少し制度として検討すべきではないか。

答 幸手保健所と連携し
感染防止に取り組む

感染症対策は県知事の権限であり、幸手保健所が調査を行い、県が結果を公表している。保健所と連携して感染防止に取り組む。また、かかりつけ医は身近な医療機関として大きな役割を持ち、地域で医療に関する相談を行っていたい。



問 児童手当の特例給付の
給付中止について

児童手当の特例給付を中止すると政府より発表されている。コロナ禍で各家庭の家計は大変な状況である。市が得ている情報と特例給付の5000円になり変わる様な市独自の給付を考えていないか伺う。

答 国の制度見直しの動向を
注視する

政府が検討を進める高所得世帯への特例給付の廃止案は、浮いた財源を待機児童解消に向けて、施設整備に活用する狙いがある。

市独自の給付については、国の制度見直しの動向を注視しながら、詳細が示された段階で慎重に判断する。



中川幸廣 議員
(新風の会)

問 都市計画道路白岡駅
西口線の進捗は

都市計画道路白岡駅西口線の工事の進捗状況とさいたま栗橋線への接続について伺う。また、白岡駅を中心に白岡宮代線と白岡駅西口線を繋ぐ白岡駅下に地下道を建設し東西の交流をスムーズにし街の発展を期するべきと考えるかがか。

答 さいたま栗橋線までの
供用開始に努める

現在の整備区間は、警察と協議を重ねた結果、安全確保を第一に考え歩道のみを供用開始する。今後、さいたま栗橋線までの整備を実施し、早期供用開始に努める。東西交通の接続は活性化に期待できるが、様々な影響・課題から駅下の地下道は計画していない。

